

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	文書理解 I (CR)		(TCH102)
講義名（コード）	TCH_文書理解 I_E		(TCH102E)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	1年後の就職活動に備えて、SPI(非言語・言語)で高得点を取ること、履歴書の書き方等就職活動全般の準備をする。言語・非言語問題で60%以上の正答率、履歴書/志望動機を自分で書ける。
全体の内容と概要	SPIの言語、非言語、履歴書/志望動機の書き方、作文試験対策を行う。
授業時間外の学修	業界・企業研究をする。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	SPIとは何かを理解する 数学の基本をおさらいする	ガイダンス（年間授業スケジュール、到達目標） ウォーミングアップ（①四則計算 ②少数の計算 ③分数の計算 ④割合）
2	損益の計算方法を理解する	①損益算 発表：自己分析① 経歴 / 自己紹介
3	料金の割引計算を理解する	②料金の割引 履歴書・ESについて
4	分割払いの計算を理解する	③分割払い 記述練習：自己分析② 自分の強みと弱み
5	代金の精算について理解する	④代金の精算 仕事について①（業界・業種・職種、雇用条件）
6	速さの計算を理解する	⑤速さ 仕事について②（志望）
7	表の読み取りができるようになる	⑥表の読み取り 【課題】について
8	記述力を高める	【課題】 自己分析③「これまで頑張ってきたこと」（レポート）
9	集計表を読み分析できるようになる	⑦集計表 記述練習：自己PR①
10	条件文から正しい事実を推測できるようになる	⑧推論 1 発表：自己PR②
11	条件文から順位を推測できるようになる	⑨推論 2 発表：自己PR③
12	与えられたルールから、様々な状況で成り立つか推測できるようになる	⑩推論 3 記述練習：志望動機
13	SPI復習	SPI復習問題①～⑩ 期末試験対策
14	期末試験	期末試験
15	期末試験解説	期末試験解説、春学期の振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『SPI基礎からはじめる問題集』
参考文献・資料等	
備考	